

令和元年度学校評価(自己評価)における年間評価

点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括
	優れている…3		
	適切…2		
	改善が必要…1		
1. 総合評価	2	進捗や取り組み状況などをみると、適切に展開されていた。ただ、今年度1年生より展開されている総合的な探究の時間に関しては現行の総合学習カリキュラムをそのまま展開しているので、ICTなどの活用も含めて特色あるカリキュラムを検討する必要がある。	
2. 「学習の記録」簿	2	記録簿の記載・回収に関してはほとんどのクラスで適切に処理されている。しかし、現行の形が長期間続いたことで習慣化され、若干の形骸化もみられるので、より有益な形を検討する必要がある。	
3. 作成記録	3	ICT機器を利用した発表を行うなど、新しい形でのクラステーマ発表もみられた。しかし、やはりその内容に関してはクラスによって取り組みの差があるので、より充実した記録の作成を呼びかけていく必要がある。	
4. 教材	2	DVDの内容に関しては、時代にそぐわないものや著作権の問題もあり早急に検討する必要がある。担任が使用しているタブレットを利用すれば使用できる内容も大幅に増加するので、内容を検討し提示していく。	
5. カリキュラムの履行状況	3	おおむね計画テーマ及び時間に沿った学習活動が展開されている。しかし、月曜日のLHRが休日につぶれることも多く、後期に関しては文化祭や修学旅行などの学校行事の関係で総合学習の時間を活用せざるを得ないことも多くみられた。	
6. 年間計画の適性	3	適切な年間計画の作成はできている。ただ、上記の履行状況でも記載したようにクラステーマ設定の時期と文化祭の時期が重なるため、担任の負担も考えた年間計画作成の検討も必要である。	

